

町 長	副町長	教育長	課 長	主 幹	担 当	合 議

別記様式第4号

会 議 等 結 果 報 告 書			
会議区分	会 議 ・ 打合せ ・ 協 議	文書番号	
		決裁期日	令和2年11月26日
名 称	文化財保護委員会会議		
日 時	令和2年11月25日（水） 13時30分～14時40分		
場 所	公民館 第1研修室		
出席者	文化財保護委員 8名（別紙参照） 教育委員会：服部教育長、吉澤主幹 長谷川主査		
内 容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 委嘱状交付（2年任期の改選期のため） ・ 教育長挨拶 施設開館状況、またコロナ禍で実施した事業の報告のほか、ジオパークの認定に向けた郷土館としての連携協力については、今後、委員会にご相談しながら進めさせていただきたい。 ・ 委員の自己紹介 <p>【報告事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 別紙議案にもとづき、郷土館・開拓記念館の開館状況、並びに日曜・祝日開館、来館者状況について説明。学校など町内関係の利用はあったものの、町外からの利用者がコロナの影響で減少。 ・ 今年2月と今年度実施した5つの事業と埋蔵文化財包蔵地における土木工事立会について説明。ウポポイ元年ということもあり、地域の歴史を学ぶ事業はアイヌについて学習。コロナ対策としてバスの定員半分の20名以内で実施した。また中谷宇吉郎生誕120年記念事業と連携し文化祭では特別展示のほか、11月7日に特別講演会も実施。 <p>【協議事項】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 10大ニュースについては資料保存も兼ね重要な事業と位置付けている。本年も例年通り実施予定。 ・ 郷土館の展示は限られた中で、より多くの情報を来館者へ伝えるため、QRコード等を活用した展示方法を見直すとともに、ジオパークの拠点施設を担うとなれば、今後連携協力しながら進める。 		

内 容

【その他】

・北向委員長から、所属する郷土をさぐる会では、地域の歴史資料の保存に力を入れている。当主が代われれば貴重な資料がなくなってしまうことがある。何か情報があれば委員会等へ情報提供をお願いします。